

- 問1 明治政府が岩倉具視を全権大使としてアメリカやヨーロッパ諸国に派遣した使節団について、その主な目的と当時の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた予備交渉を行うとともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。 | 2. 日露戦争の講和を有利に進めるため、アメリカの大統領に仲介を依頼する密使として渡米すること。 | 3. 世界恐慌による経済的混乱を解決するため、アメリカと協力して新しい国際的な通貨制度を確立すること。 | 4. ワシントン会議に出席し、中国における日本の権益をアメリカに認めさせるための外交交渉を行うこと。 |
|--|--|---|--|
- 問2 世界の食料生産に関する統計において、牛肉の生産量ではアメリカやブラジル、中国が上位を占め、輸出量ではブラジルやオーストラリアが上位となっています。このような国際的な競争の中で、アルゼンチンが行っている牛肉生産の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものを一つ選びなさい。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. アンデス山脈の傾斜地を利用し、リャマやアルパカと組み合わせた小規模な家畜飼育に特化している。 | 2. パンパと呼ばれる広大な草原を基盤に、大規模な放牧や肥育場での効率的な飼育を行っている。 | 3. 熱帯雨林であるセルバを切り拓き、焼畑農業の跡地を利用して伝統的な遊牧を続けている。 | 4. 地中海性気候を活かして、オリーブなどの果樹栽培の裏作として肉牛を飼育している。 |
|---|--|--|--|
- 問3 日本の社会保障制度は、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の4つの柱から成り立っています。このうち、国民全体の健康保持や増進を目的とした環境整備を行う「公衆衛生」の具体的な活動内容として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. すべての子どもが等しく教育を受けられるようにするための教育対策 | 2. 道路や橋、上下水道などを建設・維持するための公共インフラの整備 | 3. 大気汚染などを防ぐ公害対策や、生活環境を清潔に保つ廃棄物処理 | 4. 失業した際の生活を支えるための手当の給付や、再就職に向けた雇用対策 |
|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問4 平清盛が大輪田泊（おおわだのとまり）を整備したことで知られ、のちに兵庫津として海上交通の要所となった港など、歴史的に重要な港を通じて行われた貿易に関する記述として、正しいものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 安土桃山時代、織田信長は密貿易を防ぐために全ての貿易船に朱印状の携帯を義務付け、鎖国体制を完成させた | 2. 室町時代、足利義政は日宋貿易を拡大するために朱印状を用い、宋の貨幣を大量に輸入して国内の流通を支えた | 3. 江戸時代初期、徳川家康などが海外渡航の許可証である朱印状を発行し、東南アジア諸国との間で朱印船貿易が行われた | 4. 鎌倉時代、幕府は全国の港に勘合を配布し、明との間で公的な貿易を独占的に管理する制度を確立した |
|---|---|---|---|
- 問5 江戸時代の交通網について、内陸を通る中山道が、沿岸部を通る東海道と比較して、当時の旅人に利用された理由として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 全区間が平坦な道で構成されており、東海道の箱根峠のような険しい山越えが一切なかったため。 | 2. 街道沿いに異国船を監視するための砲台が並び、国防の最前線として幕府が最優先で舗装したため。 | 3. 参勤交代を行うすべての西国大名に対して、幕府が中山道を通ることを法律で義務付けたため。 | 4. 大井川などの大きな河川の増水による「川止め」の影響を受けにくく、予定が立てやすかったため。 |
|---|--|--|--|
- 問6 1871年に欧米諸国へ派遣された岩倉使節団の主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 廃藩置県の実施に際して、欧米諸国から政治的な承認と財政的な支援を取り付けること | 2. 国内で頻発していた士族の反乱を抑えるため、欧米の最新兵器の導入と軍隊の派遣を要請すること | 3. 幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること | 4. キリスト教の信仰を全国で解禁することを条件に、関税自主権の完全回復を合意すること |
|--|---|---|---|
- 問7 江戸時代、大坂周辺などの先進的な農業地域では、綿花や菜種といった売却を目的とする商品作物の栽培が盛んになりました。これらの作物の生産力を高めるために、九十九里浜などの沿岸部で大量に漁獲されたイワシを加工し、農家が代金を払って購入した肥料を何といいますか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 干鰯 | 2. 下肥 | 3. 刈敷 | 4. 油粕 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 日本におけるえびの供給状況を見ると、国内での漁獲量が約1.7万トンであるのに対し、ベトナムやインド、インドネシアなどからの輸入量が合計で約14万トンに達しています。このように、各国が自国で生産するよりも効率が良い商品に特化して生産・輸出を行い、効率が悪い商品は他国から輸入して補い合う世界経済の仕組みを何といいますか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 保護貿易 | 2. 経済ブロック | 3. 垂直貿易 | 4. 国際分業 |
|---------|-----------|---------|---------|
- 問9 行政手続きや民間サービスのデジタル化が進む中で、電子アプリの利用が困難な高齢者などがサービスの恩恵を享受できないという「電子サービスの世代間格差」が問題視されています。この課題を解決するために求められる視点として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. サイバー攻撃による個人情報の流出を防ぐため、高齢者の電子サービスの利用を制限すること | 2. 通信障害による混乱を避けるため、すべての行政手続きを従来の紙媒体による申請のみに統一すること | 3. 電子サービスの利便性を向上させるために、若年層に特化した高度な操作環境を優先的に整備すること | 4. ICT環境の有無にかかわらず、誰もが等しく公共サービスや情報を得られるような支援や配慮を行うこと |
|---|---|---|---|
- 問10 奈良時代、唐の僧である鑑真が、5回もの渡航失敗や失明という困難を乗り越えて日本へ招かれた主な目的として、当時の日本の制度上の背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 唐の最新の土木技術を伝え、東大寺の大仏建立における技術的な責任者となるため。 | 2. 一向宗の教えを全国に普及させ、武士や農民が団結して自治を行う手助けをするため。 | 3. 僧侶に正しい戒律を授け、国家が認める正式な僧侶を育成する仕組みを整えるため。 | 4. 比叡山を拠点として天台宗を広め、貴族中心の仏教から民衆の仏教へ転換するため。 |
|---|--|---|---|
- 問11 1639年のポルトガル船の来航禁止から、1853年のペリー来航まで約200年以上続いた「鎖国」と呼ばれる体制において、長崎の出島を窓口とした貿易の仕組みについて述べた文として、背景や目的が最も適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 国内の自治都市であった堺や平戸の商人に、海外との自由な取引を奨励して経済を活性化させるため。 | 2. 幕府の権威を脅かすキリスト教の影響を排除し、貿易による利益と情報を幕府が独占するため。 | 3. 日光東照宮の建立などの大規模な国内事業を優先するため、海外との交流を一時的に停止して国を閉ざすため。 | 4. 琉球王国を通じた中国との貿易ルートを広げ、九州地方の諸大名に貿易の管理を委ねるため。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた予備交渉を行うとともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。	明治政府にとって、幕府が結んだ不平等条約（領事裁判権の容認や関税自主権の欠如）の改正は国家的な悲願でした。1871年から派遣された岩倉使節団は、アメリカを最初の訪問地として条約改正の打撃を試みましたが、当時の日本の法整備が不十分であることを理由に拒否されました。しかし、この派遣によって欧米の進んだ政治・産業の実態を直接学んだことは、その後の日本の近代化を推進する大きな原動力となりました。
問2	答え 2 パンパと呼ばれる広大な草原を基盤に、大規模な放牧や肥育場での効率的な飼育を行っている。	アルゼンチンの牛肉生産は、広大な温帯草原「パンパ」という自然条件を最大限に活用している点が特徴です。近年では、統計上の生産量で上回るブラジルなどに対抗するため、放牧だけでなく「フィードロット」と呼ばれる肥育場に牛を集め、穀物飼料を与えて短期間で成長させる効率的な生産体制も導入されています。
問3	答え 3 大気汚染などを防ぐ公害対策や、生活環境を清潔に保つ廃棄物処理	公衆衛生は、社会全体で病気の予防や健康の維持に取り組む分野です。具体的な内容には、感染症対策、公害対策、廃棄物処理、上下水道の整備などが含まれます。これに対し、雇用対策は労働政策、道路整備は公共事業、教育対策は文教政策としての側面が強く、社会保障制度の枠組みにおける公衆衛生とは区別されます。
問4	答え 3 江戸時代初期、徳川家康などが海外渡航の許可証である朱印状を発行し、東南アジア諸国との間で朱印船貿易が行われた	豊臣秀吉や徳川家康は、海外渡航を許可する公文書として「朱印状」を発行し、これを所持する朱印船のみに貿易を認めました。これにより、中世の勘合貿易とは異なる新しい統制制度が築かれ、日本人は東南アジア各地に進出して日本町を形成するなどの繁栄を見せました。選択肢にある「鎖国」の完成は、その後の家光の時代のことです。
問5	答え 4 大井川などの大きな河川の増水による「川止め」の影響を受けにくく、予定が立てやすかったため。	東海道には橋を架けることが禁止されていた大井川などの大きな河川があり、大雨で増水すると何日も足止めされる「川止め」が発生しました。これに対し、中山道は木曾路などの険しい山道は多いものの、川の増水によって旅程が大幅に遅れるリスクが比較的小なかつたため、確実に到着したい公家や大名の行列などに重宝されました。
問6	答え 3 幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること	明治政府は、欧米列強との対等な関係を築くために不平等条約の改正を急いでいました。岩倉使節団はその予備交渉を行うとともに、日本の国力を充実させるために欧米の政治、経済、教育などの進んだ仕組みを直接学ぶことを重要な任務としていました。この視察で得た知見は、帰国後の日本の近代化政策に大きく反映されました。
問7	答え 1 干鰯	江戸時代中期以降、綿花などの商品作物の栽培が拡大すると、それまでの自給的な肥料（刈敷など）に代わり、金銭で購入する「金肥（かねごえ）」が普及しました。特に、九十九里浜で獲れたイワシを乾燥させて加工した干鰯は、高い肥料効果を持つため、近畿地方の綿作地帯などで広く利用され、漁業と農業が結びついた産業の発展を支えました。
問8	答え 4 国際分業	各国が気候、天然資源、技術力といった自国の強みを活かして特定の商品の生産を分担し、貿易を通じて交換し合う仕組みです。日本がえびの多くを海外に頼っているのは、人件費や養殖に適した環境などの面で、国内で生産するよりも海外から輸入した方が安価に供給できるという、生産効率の差が背景にあります。これにより、世界全体で資源や労働力を有効に活用することが可能になります。
問9	答え 4 ICT環境の有無にかかわらず、誰もが等しく公共サービスや情報を得られるような支援や配慮を行うこと	デジタル技術の導入は効率化や利便性の向上をもたらしますが、その一方で特定の層が不利益を被ることは「公共の福祉」や「法の下での平等」の観点から避けるべき事態です。そのため、デジタルに不慣れな高齢者に対する操作支援や、スマートフォンを持っていない人でも同様のサービスを受けられる代替手段の確保など、誰一人取り残さないための社会的な仕組みづくりが重視されています。
問10	答え 3 僧侶に正しい戒律を授け、国家が認める正式な僧侶を育成する仕組みを整えるため。	当時の律令国家は、仏教によって国を守ろうとする一方で、勝手に出家して税を逃れる者が増えることを警戒していました。そのため、正式な手続き（授戒）を経て僧侶を認定する制度が必要となり、その導師として鑑真が招かれました。比叡山を拠点としたのは平安時代の最澄であり、一向宗の広まりは鎌倉時代以降、大仏建立の技術指導は鑑真の主目的ではありません。
問11	答え 2 幕府の権威を脅かすキリスト教の影響を排除し、貿易による利益と情報を幕府が独占するため。	幕府はキリスト教が民衆に広まることが封建的な支配体制の妨げになると考え、布教の可能性がある国を排除しました。同時に、オランダや中国（清）との貿易を長崎に限定することで、貴重な輸入品の管理と海外情報の入手を幕府が直接コントロールすることに成功しました。